

# ひととき 木

— 人と木をつなぐ仕事 —

## 炭焼き

原 正昭さん

(和歌山県みなべ町)



紀州備長炭に代表される  
高温で火持ちが良い「白炭」



火つきが良く火力が強い「黒炭」

## 北海道メモ

北海道では主にミスナラを  
原木とし、炭窯の中で消火  
して炭化させる「黒炭」が  
作られています。

かた ひも ばうぐん きしゅうびんちょうたん  
堅くて火持ち抜群の紀州備長炭。  
原木となるウバメガシを。  
「ぼうがこうしん みき  
萌芽更新」と太い幹のみを選んで切る  
たくばつ したて  
「扱伐」で、15年サイクルで仕立てる。



どの幹を残すか  
みきわ  
見極めが  
じゅうよう  
重要!

すみがま  
炭窯に原木をすき間  
なく詰める。

曲がった木も  
まっすぐに  
なおして詰める。



窯に火を入れると、  
かんそう くさだ  
原木の乾燥(口焚き)

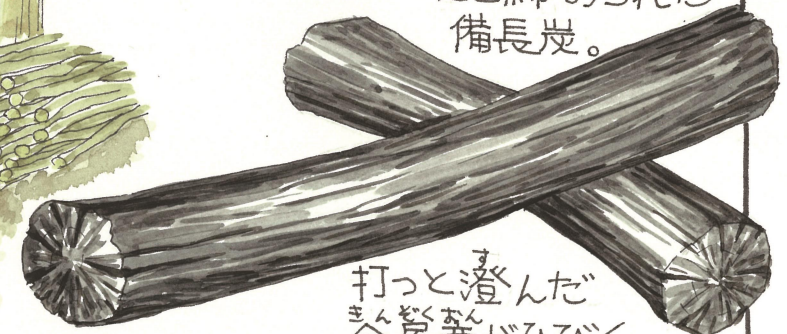
↓  
む  
蒸し焼き(炭化)

↓  
ねんしょう ねらし  
ガスの火燃焼(精錬)  
と数日かかりきりに。

1,000℃で真っ赤に焼けた  
炭を窯出し、炭をかぶせて  
しょうか  
消火します。



元の木の1/3まで焼き締められた  
備長炭。



打って澄んだ  
きんぞくおん  
金属音がひびく。